

国立劇場 国立演芸場 国立能楽堂 国立文楽劇場 伝統芸能情報館
国立劇場おきなわ 新国立劇場 芸術文化振興基金

PICK UP

東京 国立劇場(大劇場)

初代国立劇場さよなら特別公演 9月歌舞伎公演

9月2日(土)~26日(火) 12時開演(15時40分終演予定)
※11日(月)、19日(火)休演

料金 14,000円(1等席)・10,000円(2等席)・4,000円(3等席) **好評販売中**



初代国立劇場
さよなら特別公演

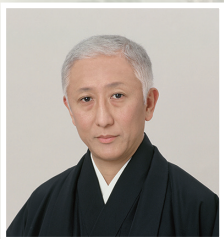
近松半二=作

通し狂言 妹背山婦女庭訓 三幕

<第一部>

戸部銀作=脚本
高根宏浩=美術

序幕	春日野小松原の場	【主な配役】	
二幕目	太宰館花渡しの場	太宰後室定高	中村時蔵
三幕目	吉野川の場	蘇我入鹿	坂東亀蔵
		久我之助清舟	中村萬太郎
		腰元小菊	市村橘太郎
		采女の局	坂東新悟
		太宰息女雛鳥	中村梅枝
		大判事清澄	尾上松緑



中村時蔵



尾上松緑

9月・10月の歌舞伎公演は、〈初代国立劇場さよなら特別公演〉として、義太夫狂言屈指の名作『妹背山婦女庭訓』を二部制の通し狂言としてご覧いただきます。9月は、「吉野川」を中心とする場面構成です。暴虐な権力者の無法な要求の前に、子への情愛を犠牲にして節義を貫く定高と大判事。そして、儂くも命を散らす雛鳥と久我之助。時蔵が定高を、松緑が大判事を共に初役で演じます。両花道を使った豪華な舞台をお楽しみください。

詳細はこちら！ 日本語 English Site

公演協賛：SMBC日興証券株式会社
大和証券株式会社、東京コンピュータサービス株式会社
さよなら記念協賛：住友生命保険相互会社、東芝ライテック株式会社
後援：千代田区、千代田区観光協会

(50音順)

東京 国立劇場(小劇場)

初代国立劇場さよなら特別公演 8・9月文楽公演

8月31日(木)~9月24日(日)
※7日(木)、15日(金)休演

料金 8,000円(1等席)・7,000円(2等席) **好評販売中**



初代国立劇場
さよなら特別公演

第一部 10時45分開演

通し狂言 菅原伝授手習鑑

三段目
車曳の段・茶筌酒の段・喧嘩の段
訴訟の段・桜丸切腹の段
四段目
天拝山の段

第二部 15時開演

ことばしききさん ぼそろ 通し狂言 菅原伝授手習鑑

四段目
北嵯峨の段・寺入りの段・寺子屋の段
五段目
大内天変の段

第三部 19時開演

そねざしんじゅう 通し狂言 曾根崎心中

生玉社前の段・天満屋の段・天神森の段



8・9月文楽公演 通し 菅原伝授手習鑑
ご案内ページはこちら！ 特設サイトはこちら！

公演協賛：森平舞台機構株式会社
さよなら記念協賛：住友生命保険相互会社
東芝ライテック株式会社 (50音順)

東京 国立能楽堂

国立能楽堂開場40周年記念 定例公演

「呂蓮」「呉服」

10月4日(水) 13時開演(15時30分終演予定)

料金 5,000円(正面)・3,300円(脇正面)・3,000円(中正面)

販売 《電話・インターネット予約》9月10日(日)10時より
《窓口販売》9月11日(月)より

狂言 呂蓮 佐藤友彦 (和泉流)
能 呉服 作物出 東川光夫 (宝生流)

【呂蓮】旅の僧は、宿の主人をたつての願いで出家させてやり「呂蓮坊」と名を授けます。そこへ主人の妻がやってきて…

【呉服】大陸より織りの技術を伝えた織女、呉服織と漢服織。二人は廷臣たちの前に現れ、織り上げた錦を貢物として捧げます。小書(特殊演出)により美しい機織台の作り物が舞台上に据えられます。



《国立能楽堂は、令和5年9月に開場40周年を迎えました》

チケットお申込み

国立劇場・国立演芸場・国立能楽堂・国立文楽劇場

☎ 0570-07-9900 / 03-3230-3000 [一部IP電話等] (10時~18時)

国立劇場チケットセンター 検索

新国立劇場

☎ 03-5352-9999 (10時~18時)

新国立劇場 検索

国立劇場おきなわ

☎ 098-871-3350 (10時~17時30分)

国立劇場おきなわチケットカウンター 検索

※学生・障害者等、各種割引あり。詳しくは各劇場にお問合せください。 本誌掲載の公演チケット料金は、すべて税込みです。

文化芸術活動に対する援助

独立行政法人日本芸術文化振興会では、芸術文化振興基金の運用益による助成事業と、国からの補助金(文化芸術振興費補助金)を財源とする助成事業及び委託事業を行っています。

◆助成対象活動の募集

助成対象活動の募集は、毎年度1回、公募により行います(国内映画祭等の活動、映画製作への支援については、毎年度2回募集しています)。具体的な募集の時期・方法、助成の対象となる活動等については、毎年度作成する募集案内で示しています。

助成金の交付を希望する団体は、募集案内の定めるところにより、助成金交付要書及び団体概要等を独立行政法人日本芸術文化振興会に提出いただきます。

◆助成対象活動の決定・助成金の交付

芸術文化振興基金運営委員会において応募活動に対する審査を行い、助成対象活動及び助成金の額を決定します。

採択された助成対象活動については、「芸術文化振興基金助成金交付要綱」及び「文化芸術振興費補助金による助成金交付要綱」に定める所定の手続きを経て、助成金が交付されます。

今月のTOPICSはこちら



芸術文化振興基金 ご支援(ご寄附)のお願い



芸術文化振興基金の概要

文化を通じた社会貢献の気運と、経済活動において文化の果たす役割に対する関心の高まりを背景に、財界関係者、芸術文化関係者有志により「芸術文化振興基金推進委員会」が結成され、資金面での積極的協力が表明されたのを受け、平成2年3月に国立劇場法の一部が改正され、芸術文化振興基金が創設されました。基金の運用益で、文化芸術団体等が行う普及・振興活動を継続的・安定的に支援しています。

芸術文化振興基金による多様な芸術文化活動への安定的・継続的支援を行うことが日本芸術文化振興会の使命だと思っております。芸術文化振興基金の趣旨にご賛同いただき、格段のご協力、ご支援をお願いいたします。



お問合せ 基金部企画調査課

TEL 03-3265-6302 (平日10時~18時)

メール kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp

芸術文化振興基金の
ご案内ページはこちら!

第33期文楽研修生募集のお知らせ(令和6年4月開講)

国立劇場伝統芸能伝承者養成所では、人形浄瑠璃文楽の伝承者を養成するため、公益財団法人文楽協会の協力のもとに、将来舞台で活躍する志をもつ研修生を募集します。受験料・受講料は無料です。

応募資格

中学校卒業(卒業見込みを含む)以上の男子で、原則として23歳以下の方。経験不問。

宿 舎

遠隔地に居住する研修生に対し、希望者には審査のうえ宿舎を有料で貸与します。空室がない場合は住宅費補助金を給付します。

応募期間

一次募集 令和5年10月2日(月)~令和6年1月19日(金)
二次募集 令和6年2月1日(木)~令和6年3月18日(月)

奨励制度

希望者には伝統芸能伝承奨励費を貸与します。(研修修了後、一定の条件を満たした場合の返還免除規定があります。)

研修期間

令和6年4月から令和8年3月までの2年間。研修開始後8か月以内に適性審査を実施し、研修継続の可否を判断します。

修了後

幹部技芸員に入門、公益財団法人文楽協会と契約し、技芸員として舞台出演することになります。

研修場所

大阪・国立文楽劇場(文楽の東京公演時は東京での研修あり)

◎応募要項等、詳細はホームページをご覧ください。



文 楽 と は

人形浄瑠璃文楽は、太夫の語りと三味線弾き、人形遣いの三業が心をあわせて一つの舞台を作り上げる総合芸術です。江戸時代初期に大坂で生まれ、いつの時代でも変わらない人間の情を描いてきました。文楽の技芸員(太夫・三味線・人形)のうち約半数は、この文楽研修修了者です。



太夫は、登場人物すべての台詞・心理・動作などを1人で語り分け、物語を展開していく重要な役割を担っています。義太夫節独特の発声法や的確な表現の習得をめざして、様々な曲目を履修します。



文楽では、太棹と呼ばれる三味線を用います。三味線弾きはその太く低い響きにより、浄瑠璃の感情を表現します。基本奏法の習得に加え、音色で感情を表現することを学んでいきます。



文楽では、一体の人形を主遣い・左遣い・足遣いの3人で操ります。研修では、人形遣いの出発点ともいえる「足遣い」を中心に履修します。2年目には、実際の文楽公演での舞台実習も多くなります。

研修だより

独立行政法人日本芸術文化振興会では、伝統芸能の次代の担い手を養成するため、歌舞伎、文楽、能楽、大衆芸能、組踊の各分野で研修を行っています。

お問合せ

国立文楽劇場
企画制作課養成係

☎ 06-6212-5529 (直通) 午前10時~午後6時(土・日・祝、12/29~1/3を除く)

✉ bunraku2021@ntj.jac.go.jp

▼詳細はこちら!
<https://www.ntj.jac.go.jp/training/group/bunraku.html>

国立劇場・国立演芸場・伝統芸能情報館は、令和5年10月末に閉場・閉館いたします。再整備等事業を経て、新たな施設として生まれ変わります。

「日本博2.0」は、全国の博物館、美術館、劇場、芸術祭などを訪れその魅力を体感してもらうことにより、「日本の美と心」を国内外に伝える取り組みです。

❖ 初代国立劇場さよなら特別公演のご紹介

10月歌舞伎公演 『選^い妹^い青^い山^い婦^い女^い庭^い訓^い』 第二部 10月4日(水)～10月26日(木)
芋環の糸に導かれ、恋しい人を追ってきたお三輪がたどり着いたのは、逆臣蘇我入鹿の御殿。そこでお三輪が見たものとは…、漁師鱈七の行動とは…。
「初代国立劇場さよなら特別公演」として、9月に続き義太夫狂言屈指の名作『妹青山婦女庭訓』第二部をお楽しみいただきます。

電話・インターネット予約開始 9月13日(水) 10時

窓口販売開始 9月14日(木) 10時

10月琉球芸能公演 10月22日(日)

電話・インターネット予約開始 9月18日(月) 10時

窓口販売開始 9月19日(火) 10時

国立劇場ラストオープンシアター

9月9日(土)、16日(土)、22日(金)、10月9日(月・祝)、18日(水)、21日(土)

9月・10月歌舞伎公演終演後、ステージツアー (①16時30分～17時15分、②18時～18時45分)とロビー見学を実施!

※9月16日①、22日②、10月9日②のステージツアーは、英語ガイドのみ。

インターネット予約開始 8月18日(金)

※電話での受付はございません。

窓口販売開始 8月19日(土)

ご案内ページはこちら!

❖ 「初代国立劇場さよなら記念グッズビール」 好評販売中!

ホップの名産地・岩手県遠野市の^{かみへい}上閉伊酒造とコラボレーションし、遠野産ホップIBUKIや豊かな伏流水で造られたクラフトビール。遠野産小麦「ゆきちから」を使用したヘイジー IPAと、東日本大震災被災地で芽吹いた奇跡のお米“大槌復興米”を使用したゴールドエンエルの2種類をご用意。特製ラベルは国立劇場前庭の桜と松をイメージしています。
※20歳未満の方に対しては、酒類は販売いたしておりません。

価格 ヘイジー IPA 880円 / ゴールドエンエル 830円
2本セット1,650円(全て税込)



❖ 「初代国立演芸場さよなら記念グッズ第2弾あづま袋」 まもなく発売!

さよなら記念グッズ第2弾は、国立演芸場「国立名人会」でこれまで特に多く演じられた落語の演目を集めてあづま袋を作ります。馴染みのある寄席文字を散りばめた使いやすいデザインです。国立演芸場のみでお取り扱いいたします。数に限りがありますので、ぜひお早めにお買い求めください。

価格 1,000円(税込)



動画 Streaming

過去の公演記録映像を配信(有料・期間限定)します。

第10回 文楽プレミアムシアター

演目 「国言詢音頭」大川の段、五人伏の段(昭和59年9月 国立文楽劇場)カラー
出演 竹本文字太夫(七代住太夫)、野澤勝平(三代喜左衛門)、吉田玉男(初代)、吉田襲助(三代)、桐竹一暢 ほか

販売期間 9月1日(金)11時～21日(木)23時59分

※視聴期間は、レンタル日から2週間です。

視聴料金 2,500円(税込) 配信サイト MIRAIL(ミレール)

国立劇場くろごちゃんねる

演目 令和5年5月国立劇場文楽公演(第一・二部再配信)
①菅原伝授手習鑑 初段 ②菅原伝授手習鑑 二段目

出演 人形浄瑠璃文楽座 ほか

販売期間 配信中～8月30日(水)23時59分※視聴期間は、レンタル日から2週間です。

視聴料金 各3,000円(税込) 配信サイト MIRAIL(ミレール)



日本芸術文化振興会ニュース
令和5年9月号

令和5年8月20日発行(毎月1回20日発行)
通巻662号(昭和43年5月1日創刊)
発行 独立行政法人日本芸術文化振興会
〒102-8656 東京都千代田区千代田4-1
☎03-3265-7411(代表)
https://www.ntj.jac.go.jp
印刷 株式会社丸井文社

■本誌面は日本芸術文化振興会のホームページでもご覧いただけます。

国立劇場・国立演芸場・伝統芸能情報館
〒102-8656 東京都千代田区千代田4-1 ☎03-3265-7411(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/

国立能楽堂
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 ☎03-3423-1331(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/nou.html

国立文楽劇場
〒542-0073 大阪府大阪市中央区日本橋1-12-10 ☎06-6212-2531(代表) https://www.ntj.jac.go.jp/bunraku.html

新国立劇場
〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1 ☎03-5351-3011(代表) https://www.nmtt.jac.go.jp/

国立劇場おきなわ
〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-14-1 ☎098-871-3311(代表) https://www.nt-okinawa.or.jp/

東京の地場に発する国際芸術祭東京ビエンナーレ2023

夏会期 7月～9月〔プロセス公開〕

秋会期 9月23日(土)～11月5日(日)(成果展示)

東京ビエンナーレとは、“東京”のまちを舞台に“2年に1度”開催する国際芸術祭。世界中から幅広いジャンルの作家やクリエイターが東京のまちに集結し、まちに深く入り込み、地域住民の方々と一緒に作り上げていく芸術祭です。

今年のテーマは「リンケージ つながりをつくる」。夏会期・秋会期を通じ、ご自身にとって大切な「リンケージ(つながり)」を見いだせる場になることを目指します。



ご案内ページはこちら!

art stage OSAKA 2023

日程 9月1日(金)～3日(日)

会場 グランキューブ大阪

「アートで見る未来社会」をテーマに、「アジア地域10ヶ国の国際展」「日本の現代作家展」「熱狂的なコミュニティから支援を受けるNFT作品展」を通じて、異なる地域や領域から未来社会を探求することを目指すアートイベントです。更に、art KYOTO 2023を京都二条城で同時期に開催し、厳選したアート作品を展示・販売。大阪・関西から国内外の人々にアートの魅力を発信します。



©art stage OSAKA 2022



ご案内ページはこちら!

民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある

日程 開催中～9月18日(月・祝)まで

会場 大阪中之島美術館

名もなき職人から生み出された民衆の工藝「民藝」は美術品に負けない美しさがあると唱えた柳宗悦。本展では柳が唱えた美しい民藝の品々を展示し、今に続く民藝の産地を訪ね、作り手と受け継がれている手仕事を紹介しています。現代のライフスタイルと民藝を融合したインスタレーションもみどころです。



©小鹿田焼(大分)
Photo: Yuki Ogawa



ご案内ページはこちら!

ご寄附のお願い Support Us

あなたも日本の文化芸術を支える「^{パートナー}立役者」になりませんか。

文化芸術復興創造基金

日本の多彩な文化芸術団体の活動を支援します。「舞台芸術・美術等」「地域文化」「文化財」「映画芸術」を応援できます。

お問合せ 基金部企画調査課

TEL 03-3265-6302 (平日10時～18時)

メール kikakuchosa-nt@ntj.jac.go.jp



ご案内ページはこちら!

くろごちゃんファンド(国立劇場基金)

日本の伝統芸能を未来へつなく、国立劇場各館を応援! 様々な伝統芸能の公演や、伝承者の養成、調査研究等を支援できます。

お問合せ くろごちゃんファンド寄附担当

TEL 03-3265-6719 (平日10時～18時)

メール donation@ntj.jac.go.jp



ご案内ページはこちら!



【数量限定】「継続寄附」手ぬぐいプレゼントキャンペーン!

くろごちゃんファンドでは、「継続寄附」をお申込みいただいた全ての方に、国立劇場オリジナル手ぬぐいをプレゼントしております。キャンペーンは手ぬぐいが無くなり次第終了となります。この機会にぜひお申込みください!

